

岐阜県立大垣工業高等学校

学校長 増田 俊彦

学校住所 岐阜県大垣市南若森町301番地1 電話 0584-81-1280

- 1 会議の名称 大垣工業高等学校評議員会 (平成28年度第1回)
- 2 会議の構成 委員 金森 実輝彦 公益社団法人大垣青年会議所 副理事長
河島 浩二 イビデン(株) 人事・総務部長
高屋 心子 大垣市男女共同参画推進連絡協議会 副会長
大垣夢ある女性の会 企画部長
森 政司 (株)セイノー情報サービス 取締役総務担当
安田 久恵 地域代表 (主婦)
- (委員名は五十音順)

育友会長 二村 勝

学校側 増田 俊彦 校長
高木 剛 事務部長
若尾 泰明 副校長
大橋 美利 教頭 (全日制)
森 保 教頭 (全日制)
川畑 茂 教諭 (全日制: 教務主任)
小野 哲男 教諭 (定時制: 教務主任)
山下 泰司 教諭 (全日制: 生徒指導主事)
中野 久成 教諭 (全日制: 進路指導主事)
樋口 高広 教諭 (全日制: 工業部長)

- 3 会議の目的 岐阜県立大垣工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、平成28年度の教育方針・重点及び学校課題を説明し、協議テーマである「本校の良さを生徒の姿で地域に伝え、地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくり」について提言を受ける。

- 4 会議の開催 平成28年7月6日(水) 13:30~15:35 大垣工業高等学校 会議室
委員5人全員と育友会長、学校側10人が出席

5 会議の概要

- (1) 学校長挨拶
(2) 日程説明
(3) 授業参観 参観クラス: 3年機械科、2年電子機械科
(4) 本校の教育方針と重点についての説明
全日制: 教務、生徒指導、進路指導、工業部
定時制: 教務

- (5) 協議

「本校の良さを生徒の姿で地域に伝え、地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくりについて」の取り組みについて

- 意見 1 授業を見学させていただき、少人数での実習であり、指導が行き届いていた。実習を行うための設備も充実していた。
入学希望者が少なくなっているということだが、状況の分析をしっかりと行い学校のマニフェストへ取り入れる必要がある。
企業では5Sが基本だが、実習室を見させていただくと、まだまだ安全が確保されていない。しっかりとした指導が必要ではないか。

- 意見 2 経済の視点から話をさせていただくと、お金を落とすのは外者・若者であると思います。特に建設業界では新築より中古のイノベーションが多くなり、また、今の時代はデザインが大切な時代でもあります。10年前とは違い、日本のものづくりは大変素晴らしいものだが、今後はデザインを中心にした取り組みや、例えば、全学科で一つのモノを製作するような取り組みなどが必要ではないかと思います。
デジタル機器の使用について心配されているようだが、最近の子供たちはデジタルに親しむことも才能であると思う。逆にデジタルをうまく使う指導もよいのではないのでしょうか。
- 意見 3 工業高校を初めて見学させていただき、知ることができました。生徒たちが実習を行っている様子を見て感じたことは、技術を突き詰めた職人は日本から海外へ出ていく際には非常に大きい力となるのではないかと思います。さらに技術を磨いて生徒の姿を中学校にPRしていくことが大切ではないでしょうか。
生徒の個別指導計画の作成など、個に応じた指導プログラムは大切であり、必要であると思います。
子供たちは、必要と感じた時にできるようになる。また、好きなことはできるようになると思います。
地域での活動に力を入れて取り組んでいて、素晴らしい成果を上げているが、地域だけでなく、もっと外に目を向けた活動にも取り組んでほしい。
- 意見 4 最近では地元に戻ってきて就職をする人が多くなったように感じます。自宅から通いたいなど、地元志向が強くなってきています。
最近の子供たちはとてもおとなしいと感じます。昔はもっと元気があったように思うし、大垣工業高校の生徒は特に元気があった。学校で一番大切なのは人を育成することで、教科や技術だけにとらわれない指導をお願いしたい。
どのようにPRをしていけば大垣工業高校の良さが伝わるか、これからも一緒に考えていきたい。
昨年まで取り組んでいたスーパーサイエンスハイスクールへの取組は、非常にインパクトがあると思っていたので、残念です。
- 意見 5 野球部の生徒をはじめ、大垣工業高校の生徒は挨拶がしっかりとできる。これは大変素晴らしいことであり、今の時代はできない子供が多い。
大垣工業高校の昔からの伝統はすごく大きいと思います。この伝統は大事なものであるため大切にすべきであり、生徒も大垣工業高校で学んでいるということに自信をもって、今後の活動に取り組んでほしい。

6 会議のまとめ

本校は地域の期待も大きく、また、同窓会など多くのご協力を頂ける環境にあります。本日はいただいたご意見をもとに、これからも本校の良さを広報していきたい。